

## 第2回東海村“自分ごと化”会議 「改善提案シート」

第2回東海村“自分ごと化”会議で、参加者が記入した「改善提案シート」の内容を、以下のとおり分類しました。

### ○「現状の課題」分類

<b>1. 原発の安全性</b>
① 原発が安全になったのかわかりづらい
② 避難計画・ルートが十分でない（安全に避難できるのか）
<b>2. 原子力を活かしたまちづくり</b>
① 交付金の使い道がまちづくりに活かされていない
② 交付金がなくなることを想定した議論がされていない
③ まちづくりについて議論する場がない
④ 原発の廃止とその後について議論がされていない
<b>3. 情報の共有</b>
① 原発に関わる情報を十分に伝えられていない
<b>4. 代替エネルギー</b>
① 原子力に替わるエネルギーの研究や議論が進んでいない
<b>その他</b>

## 1. 原発の安全性

課題 ①		原発の安全性がまだわからない
改善 提案	個人の 取組み	・ 個人から情報収集し、周りに発信（共有）していく。
	地域の 取組み	
	行政の 取組み	・ 地震等災害発生時の村内放送などを充実させていく。 ・ ホームページなどで、新規規制基準によってどれくらい安全になったのかを説明する。
	原子力 事業者の 取組み	・ 安全対策工事の説明が不十分なので、住民への個別訪問等を充実させる。 ・ 結局どれくらい安全になったのか、わかりやすく説明する。

### 課題①のその他の意見

- ・ 安全審査の項目は承認認可されているが、見えない配管部分などに金属疲労による損傷があるかも知れない。国・事業者・原発メーカーは、安全審査項目以外の部分を含めて説明してほしい。
- ・ 安全対策費用をただ費やすだけでなく、廃炉にする費用、または代替エネルギーの費用にして行く。

課題 ②		避難計画・ルートが十分でない（安全に避難できるのか）
改善 提案	個人の 取組み	・ 避難にあたって行政に準備しておいてほしい（事前配布してほしい）ものを提案する。また、周囲からも意見を集める。 ・ 原発があることのリスク（デメリット）とメリットを見比べて、自分の意見を持つ。
	地域の 取組み	

	<p>行政の 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [県] 各市町村に避難計画の策定を促す。</li> <li>・ 避難計画は、何が不十分だと裁判で判断されたのかを明示する。</li> <li>・ 津波や地震で道路が寸断された場合も含めて考えた避難ルートの検討を行う。</li> <li>・ 避難ルートは本当に安全なのか不明確なので説明を丁寧にする。</li> <li>・ [国] 災害発生時の補償について、福島第一原子力発電所事故を例に検討し、稼働までに住民に説明する。</li> </ul>
	<p>原子力 事業者の 取組み</p>	

## 2. 原子力を活かしたまちづくり

課題 ①		交付金の使い道がまちづくりに活かされていない
改善 提案	個人の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付金の仕組みを理解、納得の上で生活する。</li> <li>・ 交付金を用いた取組みによる新しいサービスを活用する。</li> <li>・ リスクと受け取るメリットを両方理解し、個々人がそのバランスに納得する。</li> </ul>
	地域の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災などの取組みをPRする。</li> </ul>
	行政の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付金の仕組みを説明し、理解を促進するための活動に取り組む。</li> <li>・ 立地自治体と周辺自治体の不平等感をなくす。</li> <li>・ 原子力災害以外の災害にも強い村としてPRする（例えば、迷惑料としてとらえるのではなく、村の特徴として村おこしに活かす）。</li> <li>・ 使い方に柔軟性をもたせてほしい。</li> <li>・ （交付金の使われ方が限定されているので不可能かも知れないが）将来に向けて、村で一部貯蓄できるようにする。</li> <li>・ 交付金を活用して、東海村を外部からの避難場所にできるくらい安全な場所にする計画をたてる。</li> </ul>
	原子力 事業者の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・行政と協力したサービスを展開する。</li> </ul>

### 課題①のその他の意見

- ・ 恩恵は多大に受けているが、このままではいけない。

課題 ②		交付金がなくなることを想定した議論がされていない
改善 提案	個人の 取組み	
	地域の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付金がなくなったとしても、それをまかなうことのできる魅力づくりに取り組む。</li> </ul>

	行政の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村役場に交付金がなくなった後の対応についての検討組織をつくる。</li> <li>・ 原子力に頼った財政が危ないことは村も承知していると思うので、今できる方法で対策を検討する。</li> <li>・ 足りなくなる分の財源づくりに取り組む。</li> </ul>
	原子力 事業者の 取組み	

課 題 ③		<b>まちづくりについて議論する場がない</b>	
改善 提案	個人の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度についての話よりも、“東海村をどうするのか”という意見をもっと皆から聞く。</li> <li>・ 地域貢献に取り組む。</li> </ul>	
	地域の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海村の将来を地域で語る場をつくる。</li> <li>・ 自分たちで東海村の魅力となることを見つけ、村に協力してもらって盛り上げていく。</li> </ul>	
	行政の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村として、東海村の将来を語る場をつくる。</li> <li>・ 村の農業・産業・イベント等、魅力度を上げる為の企画を行う・情報発信する。</li> </ul>	
	原子力 事業者の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全についての重責への理解を前提として、まちづくりに協力する。</li> </ul>	

課 題 ④		<b>原発の廃止とその後について議論がされていない</b>	
改善 提案	個人の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言出来る場で問題提起していく。</li> </ul>	
	地域の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で考えを発言できる場をつくる。</li> </ul>	
	行政の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職支援を行う。</li> <li>・ 村民・県民・国民の意見を求め、それに対して話し合う。</li> <li>・ 村役場に、東海発電所の廃止措置完了後の対応についての検討組織をつくる。</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力に頼らないまちづくりは、以前からたびたび議題にのぼるが、具体的な案が提示され、実行されたことはないと思う。実現している事柄があるなら、もっと宣伝し村民に伝えてほしい。</li> </ul>
	<p>原子力事業者の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究に力を入れる。</li> <li>積極的に行政に働きかける。</li> </ul>

課題④のその他の意見

- 原発を廃止すると村の人口はどのようになるのか。

### 3. 情報の共有

課題 ①		原発に関わる情報を十分に伝えられていない
改善 提案	個人の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力とは何なのかをまず子どもに教え、話し合い、次世代に伝えていく。</li> <li>重要インフラを支えている村民であると自覚を持つ。発電に誇りを持つ。</li> </ul>
	地域の 取組み	
	行政の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>「原子カムラ」から「原子カリテラシーが高い地域」へ。原子カスマートシティを目指す。</li> <li>良いイメージの話ばかりではなくリスク、デメリットをもっと住民にアピールしていく。</li> <li>災害時の対応を分かりやすくする。(マンガなどを使って)</li> </ul>
	原子力 事業者の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力 PR 館の充実を図る。</li> <li>原子炉の中でおきている事を、簡単な言葉で表現する。</li> <li>住民にとって応援できる事業者になる。</li> </ul>
	その他 (メディア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>感情論で報道せず、事実と数字で賛否の両論を報道する。</li> </ul>

#### 課題①のその他の意見

- 原子力発電が日本として必要であるというメッセージを発信していけないか。

## 4. 代替エネルギー

課題①		原子力に替わるエネルギーの研究や議論が進んでいない
改善 提案	個人の 取組み	
	地域の 取組み	
	行政の 取組み	・ 原子力を廃止しても大丈夫なように、他のエネルギーによる発電の低コスト化、安定供給、開発にどのように力を注いでいるかを国民に開示する。
	原子力 事業者の 取組み	・ 水素エネルギーなどの代替エネルギー活用の議論を進める。 ・ 原子力に替わる再生可能エネルギーだけで電力を賄えるように、低コストで効率良く発電できる研究開発に人材を投入・育成する。

### 課題①のその他の意見

- ・ 原子力の運転期間は約40年といわれている。再稼働も難色を示しているが、東海村にある原発の稼働リミットはいつまでなのか。

## ■ その他の意見

【カーボンニュートラルをどうやって達成できるかわからない】

- ・ カーボンニュートラルの実践を決めた自治体の紹介があったが、細かく聞かないと東海村や他の自治体に適用できるのかわからない。ある意味実証実験であり、うまくいけば良い部分を取り入れると良いと思う。
- ・ 発電方法は原子力、再生エネルギー、火力などあるが、発電割合の大きい火力発電が、たとえコストが安くても使えなくなった場合にどうするのかといったことも考える必要がある。

【東海村の緑が減っている】

- ・ 開発が進むことで森林が伐採されていく。将来的に CO2 問題が心配。
- ・ 村土の何%緑地を確保する計画なのかを説明していく必要がある。

【その他】

- ・ 東海ステーションギャラリーで展示をされている方と直接話をして、「これがもし東海村でおこったら」と考え、正直、複雑な気持ちになった。でも原発をなくそうとは思えない。何故だろう。
- ・ 有識者の方の意見が片寄り過ぎ。かつ発言が長い。もっと参加者の方々の意見や話が聞きたい。